



Good Wood Communication!

かけがわの森から



西之谷川流域の山 明るくなる

奥地保安林整備事業が完了

本数調整伐の面積は三年間で一八〇ヘクタール

西之谷川流域において県の治山事業（奥地保安林整備事業）が、平成二十一年度より三年間をかけて行われ、この三月で完了となりました。本事業の中で、スギ・ヒノキ人工林の本数調整伐が三年間で一八〇ヘクタール実施されました。

本事業と並行して実施してきた森の力再生事業の施工を含めると、当地区で二二〇ヘクタールの間伐伐がなされたこととなります。暗かった森には、光が差し込み、これから下層植生の充実による土砂の安定・林内生物の多様化が期待できます。また、

間伐後の林には真直ぐな木が残り、これらが成長していくことで、山の資源としての価値がより高まると思われれます。

こうした意義深い事業を完了できたことは、ご協力いただいた森林所有者の皆様と、県の農林事務所の皆様のおかげと、深く感謝を申し上げます。また、大きな事故なく作業ができたこともとても良かったと思います。

次には、これらの資源がいか活用される日が来て、森林所有者の利益となるよう研究を重ねるとともに、国や県の様々な事業を活用しながら、森林組合の体制の整備・強化を図ってまいりたいと思います。

平成二十四年度は同事業が平島地区で実施される予定です。よろしく願いいたします。

間伐作業により山が明るくすっきりしました



道路沿いは牽引機を使って慎重作業をしました



土砂流出緩和の為にところどころに本柵が設置されました

境界確認から間伐まで
西之谷川流域を担当して3年

今橋職員インタビュー

3年間の境界確認面積380ha、調査筆数700筆。間伐施工面積220ha。そのほとんどを担当し、3年間



西之谷地区に通いつめた今橋職員にインタビューしました。

3年間担当して、率直な感想はどうですか？

「境界保全と間伐を同時に進めることはなかなか大変で、昼間外業、夜内業の連続は、正直くたびれました。それでも、地権者の皆様に喜んでいただけたので、本当に良かったと思っています。」

印象深かったことは？

「境界確認の際に、公図に記載されている昔の公道『赤線』を現地で見つけられたときは、探し物が見つかったようで、何やらとても印象深かったです。

かつては主要幹線であった道が、今は使用されることなく、ひっそりとそこにある。そこにはなにか威厳のようなものを感じました。」

西之谷地区の方々へメッセージをお願いします。

「境界立会、書類押印等で大変お世話になりました。今後、境界の件などでご不明な点がありましたら、その都度対応させていただきますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。」

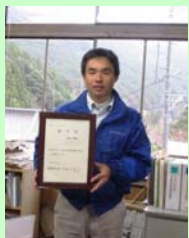


↑立会い状況

今橋さんお疲れ様でした！

技術職員の長嶋勝樹さん

「しずおか林業作業士長」に認定



しずおか林業作業士長は、県知事が認定する林業関係の専門技術者の資格です。

多くの免許を取得し、かつ十年以上の現場作業に必要な多くの経験を受け、この認定を受けることとなりました。チェンソー作業、機械作業、すべての作業のリーダーとして、今後かけがわの森で活躍していただきます。

東日本大震災から1年

～着実な復興を心よりお祈り申し上げます～

あの痛ましい震災・津波・原発事故から1年が過ぎました。1年経った先日の3月11日、日曜日の午後2時46分、犠牲になられた方々を思い、黙祷を捧げた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。報道等によると、少しずつ復興が始まった地域、まだまだそこまでは至らない地域、様々なようです。

私たち小さな森林組合としては、直接なにか支援ということはなかなか難しいのですが、日々の活動が、まわりまわって被災地のだれかのためになることを思い、一日一日を充実したものにしていきたいと思ひます。

薪材提供と放射性セシウムの問題

～薪材・炭材への林野庁通達～

福島第一原発の事故後、放射性物質による被害は居住地、農林水産物、建材など、多方面に及び、瓦礫の受け入れ問題にも影響を落としています。そのような中、当組合が地元で伐って格安販売していた薪材にも「放射性セシウムの検査をしているか？」との問い合わせが寄せられました。よく調べると静岡県産の薪・炭は林野庁通達により検査が義務付けられていました。県内で大量の用材・チップ材が流通する中、地元で伐って地元で使う少量の薪材に「検査」と言うのは違和感があります。が、適切に対処したいと思ひます。



森林組合からのお知らせ

●職員募集しています！



当組合では平成 25 年 4 月採用の職員を募集しています。詳しくはホームページの「採用情報」をご覧ください。(HPは「かけがわの森から」で検索)

●地籍調査事業への取り組みについて

平成 25 年度から山村部の地籍調査事業が実施できるよう、只今関係機関と調整を進めています。事業実施について、ご意見ご質問、お問い合わせは森林組合事務所へよろしくお願いいたします。



●椎茸菌・苗木の購入 ありがとうございます！

椎茸菌は約 100 袋 (1000 個入)、また、山行き苗木は約 4,500 本を販売いたしました。多くの皆様のお買い上げ、ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします！(購買担当 角皆)



●雇用対策事業で海岸林をきれいに！



昨年 10 月から 4 ヶ月間、市が実施した雇用対策事業に取り組み、海岸林の除伐・下刈りを実施しました。震災後、海岸防災林には津波の勢いを弱める動きがあると言われていました。今回は有用樹の育成と景観向上に貢献できました。

♡ ラブリーな丸太を発見 ♡

先日、県森連の丸太市場を訪れた際、なんだかとてもラブリーな丸太を発見しました。外側が♡、中にあいた穴も♡。用材としての価値はあまりなさそうに見えますが、少しだけ心を和ませる丸太でした。



キーワード ①

「森林法の改正」

プラン具体化のため、森林法の一部が改正されました。森林施業計画制度は森林経営計画制度になりました。また、森林の新規取得には届出制度が新たにできました。

キーワード ②

「施業集約化」

数十 ha を 1 団地とし複数の林地をまとめて森林経営計画を立てることが推奨されます。森林整備に対する国の補助金は、主に、この計画に基づく施業に限定して交付されます。

キーワード ③

「路網の整備・高性能 林業機械の整備」

間伐した木材を低コストで搬出する為のインフラ整備が推進されます。掛川でも林業専用道や森林作業道の整備が計画されています。

国の「森林・林業再生プラン」

即して

静岡県では「ふじのくに森林・林業再生プロジェクト」

キーワード ④

「間伐材の搬出」

間伐材の利用・国産材自給率向上のため、材の搬出が推奨されます。国の補助金は材の搬出量が多いほど高くなっており、間伐の際は、より多くの搬出が求められます。

キーワード ⑤

「人材育成」

林地を集約化して計画・実行を行う「森林施業プランナー」・「林業作業士」。これを行政の立場から指導する「フォレストナー」。それぞれの資格者の養成・拡充がなされます。

キーワード ⑥

「林地の選択」

県は、林道から近く、傾斜が緩やかな人工林を木材生産の適地として考えます。これから材を搬出する場合、ある程度林地を「選択」していくことが求められます。

プランの内容の詳細は林野庁のホームページに掲載されています。

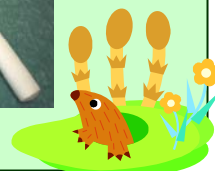
当森林組合では、こうした林政の大きな流れに乗りつつも、地域の山を守り、育て、活かすという基本を忘れず、地域に合った森林施業を模索していきたいと考えています。

国の示す「森林・林業再生プラン」の概要を解説します。平成二十四年度より、日本の森林・林業行政はこのプランを軸に展開されていきます。今回は、プランの内容を六つのキーワードに分けて解説します。

“これいい！” 購買担当「藍ちゃん」の オススメGOODS!!

手 鎌	180mm	¥1,840
	95g	¥2,400
	130g	¥2,730

これから夏にかけて、草刈シーズンの到来！
丈夫で、切れ味抜群のおすすめ商品です。
180mm の薄鎌は軽くて、女性でも使いやすいですよ♪

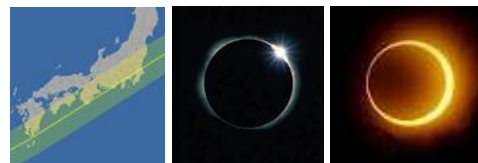


組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に移動（相続・取得・売却）が生じた際は森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

ひとこと 山の話でなく空の話。来月 5 月 21 日の朝、金環日食が見られます。太陽と月と地球が一直線に並び、太陽を隠す月の周りに太陽のリングが見られる、たいへん珍しい天体ショーです。筆者もとても楽しみにしています。天候が良いことをひたすら祈ります。

(金環日食が見られる範囲 → 掛川はバッチリですね～)



掛川市森林組合

TEL 0537-25-2111

履歴)で確認していただけます。

※間伐施業を行った場所はホームページの「施業

36 件ほどの仕事をさせていただきました。

◆台風 15 号による倒木処理

9 月 21 日の台風による風倒木処理ですが、件数で

123 ha の間伐事業を実施しました。各地区で明

い山が増えました。

◆間伐事業 約 123 ha

西之谷地区の治山事業にて 40 ha、森の力再生事

業にて 4 地区 78 ha、その他事業にて約 5 ha、計

123 ha の間伐事業を実施しました。各地区で明

い山が増えました。

◆境界明確化 黒俣 西之谷両地区 120 ha

境界を保全すると共に、効率よく森林整備を進め

る上で大切な作業です。黒俣地区で 80 ha、西之

谷地区で 40 ha を実施しました。境界立会いのこ

協力、ありがとうございました。

平成二十三年度

本年度行った事業を報告します